



## 建設工事すすむ

第三小学校（森本小字下森本）の建設工事は、さる7月11日に地鎮祭が行なわれて以来、順調にすすんでいます。

第三小学校は、鉄筋コンクリート造り

3階建て延べ2,441平方メートル、建設費1億1,500万円です。開校は来年4月です。工程は12月末で80パーセントを完了。 —写真—第三小学校



発行所  
向日町役場

京都府乙訓郡向日町  
大字寺戸中野20  
電話京都 (931) 1111 (代表)  
編集・向日町役場総務課

## 一杯の酒が「一家を狂わす!!」

### 飲酒運転追放運動

ひとりひとりが安全運転

十二月十日から翌年一月十五日までの間、「飲酒運転追放運動」を実施しています。  
実施当日、まず現場の町職員から率先して、飲酒運転を追放しようとするべく、飲酒運転追放宣言文を同報しました。  
また、町内の各家庭に「酒知れらるる新報」の折込とともに、車を運転する人たちに「飲酒運転追放のステッカー」を配布し、町ぐるみで年末年始の飲酒運転追放運動を実施しています。  
車を運転する人は、いま一度初心にかえって、また「酒を飲ばな

らハンドル持つな」という心がまえで飲酒運転を、ひとりひとりが注意して追放してください。  
飲酒運転追放運動は、お酒と運転のことについて話し合おう。  
運転者にとって、アルコールはたかえ一杯でも禁物です。にもかかわらず、飲酒運転による交通事故があとを断たないのは、運転者がアルコールの影響を甘くみすぎているためと考えられます。  
実験によれば、自分では正常であると思っても、身体機能はわずかな酒（すなわち、飲酒検知器で測定したときのアルコール濃度が呼吸一リットル中〇・二五ミリグラム以下の場合であっても）で酔っていることが明らかになり、運転上、つぎのような影響を受け危険性が証明されています。  
昔から「大酒飲みは、一家を狂わす」といわれたのが、今や「たった二杯の酒飲み運転が一家を狂わす」時代となっていることを各人が銘記すべきでしょう。

町内の人口(12月1日現在)

|     |         |     |        |
|-----|---------|-----|--------|
| 男女計 | 18,561人 | 森本  | 3,736人 |
| 世帯数 | 18,776人 | 森冠井 | 4,202人 |
|     | 37,337人 | 西向日 | 1,333人 |
|     | 10,614  | 上植野 | 3,092人 |
|     |         | 向日  | 1,166人 |
|     |         | 向日台 | 1,984人 |
| 物集女 | 2,747人  |     |        |
| 寺   | 19,077人 |     |        |

(1) 運転に最も大切な眼が正常に働かないようになる。  
知覚神経が鈍り、注意力が散漫になるため、危険信号、道路上の障害物、対向車両などの発見能力や距離感が狂い、全体に対しての注意力がいきわたらなくなる。  
(2) 反応能力が不安定で遅くなる。中枢神経がマヒして反射作用や運動能力が鈍るので、運転状況、標識、信号機、歩行者などを交通上の対象物を発見してから、運転に必要な情報をとるまでの反応時間が著しく遅くなり、不安定（突如間）となる。  
(3) 判断力や筋力、その判断能力が鈍るほか、判断力としての感情も著しく鈍り、大胆となる。脳の前頭神経や網膜に対する感覚が鈍るため、自動反応する能力がなくなることも、運転動作は必要以上に大きくなり、アクセル、ブレーキなどの踏み込みが不正確に、そして危くなる。また遠慮感やショック感が著しく鈍り、交通上の対象物が小さく、しかも弱く見え出し、これいものなしの暴走運転となる。  
(4) 疲労運転となる。アルコールのため心身機能が異常な刺激をうけてマヒするので、呼吸、脈はくの数が著しく増え、脳波も正常な働きが止まり、知覚も理性もマヒして過労運転を及ぼされる疲労状態を呈し、翌日も持続しがちである。